



バレーボール
volleyball

勝利を誓い「V」のフォーメーションを組む一関Vアタッカーズ。粘り強いレシーブとセンター、ライトからの速い攻撃が特徴。「全一心助」を合い言葉に練習に励む

[特集]

灼熱サマ― 2016

Special Edition : Burning summer 2016 in Ichinoseki

7月30日、31日の両日、盛岡市で開催された岩手県小学生バレーボール選抜大会で一関Vアタッカーズ(吉家賢一監督、部員13人)が初優勝し、9月に宮城県で行われる東北大会の切符を手に入れた。昨年は決勝で破れ涙をのんだが、創部から10年目で悲願の王座に輝いた。

市内の小学生女子バレーチームでは初の快挙。チームを率いて9年目の吉家監督は「決勝戦では9対13から6連続得点で逆転勝利。選手たちの頑張りはすごい」とたたえる。主将の佐々木万莉奈さん(二関小6年)は「チームは仲がよく、明るく元気。東北大会でも優勝を目指したい」と活躍を誓った。

快挙に湧く競技は、バレーボールだけではない。さまざまなお祭り、一関勢の活躍が光っている。彼らの気迫のこもったプレーに、胸を灼き、心を熱くする。灼熱の夏は、まだ終わらない。

東北、全国、そして世界。それぞれの舞台で、破竹の快進撃を続ける一関の選手たち取材した。

あい
な人 File_40
いちのせきを愛する人

2015年度県スポーツ少年団優良指導者として表彰

三浦 研さん

Miura Ken 44 藤沢町藤沢

三浦さんは、少年野球の指導者としての功績が評価され、岩手県体育協会の「岩手県スポーツ少年団優良指導者賞」を受賞した。「野球で結ばれた選手、保護者、指導者が、同じ夢を追いかけていた」と振り返り、「支えてくれた家族や仲間のおかげ」と感謝する。

野球と出会ったのは25歳のとき。ダイエットのため、職場の先輩が所属する地元のクラブチーム「八沢コンドル野球クラブ」(当時軟式A級)に加入したことがきっかけだった。高校時代はサッカー部に所属。ゼロから始めた野球だったが、監督や仲間のアドバイスを素直に吸収し、めきめきと上達。一目置かれる選手に成長した。

気さくで面倒見がよい三浦さん。地域の人たちやチームから依頼され、2000年から旧徳田小野球部を指導することに。当時の東磐井地方は、県大会出場をかけた、20チーム以上がしのぎを削る激戦区。そんな中、小規模校の徳田は「10点以上の大差で敗れる弱小チーム」だった。

スポーツにミスはつきものだ。三浦さんは「なぜミスをしたのか」を子供たちの目線で子供たちが納得するまで解説し、基本練習を繰り返した。

数年後、努力は実を結ぶ。徳田は東磐井地方でベスト8入りするチームになった。そして09年、徳田、藤沢、保呂羽、大籠の4小学校が統合して誕生した新生藤沢小を初の県大会に導いてからは、8年間で5大会連続を含む9つの県大会出場を果たすなど、藤沢地域の少年野球の発展に大きな足跡を残した。現在、市内で活躍する野球選手の中には、三浦さんの教え子たちの姿も。

自分のことは後回し。選手、保護者と共に同じ夢を追う



Profile

野球のほかにも、藤沢スポーツランドで開かれるモトクロス大会や大型バイクのイベント「V-Rally」などのスタッフとして活動する。「頼まれたら断れない」性格もまた、魅力の一つ。今春、長男悠作君(中1)が所属する藤沢中野球部のコーチに就任。舞台を中学野球に変え、親子で県大会を目指す。

「夢は努力を重ねると目標が変わる。あの頃のように、もう一度みんなで追いかけてみたい」。真っ黒に日焼けした顔に白い歯がこぼれた。

1972年藤沢町生まれ。藤沢高校を卒業後、埼玉県内のレストランに就職。帰郷後、地元のクラブチームに所属しながら旧徳田小、統合後の藤沢小の野球を指導した。趣味はバイク。休日の運転がなによりの息抜き。妻、長男、長女の4人家族。現在は、市内の特別養護老人ホームで介護員として働く

無敵の可愛さ。しちふくじんの七五三

撮影料 無料 外出・泊2日 無料 一周の方も安心 ご自宅へ回収に伺います

七福人 Furisode Collection 成人式 レンタル&販売 新作振袖

ご購入・レンタル・ママ振・フォト成人 何でもお気軽にご相談ください!

ご予約受付中

〒023-0003 岩手県奥州市水沢区佐倉河字慶徳44-1 TEL 0197-23-8555 営業時間/10:00~18:30 [水曜定休] E-mail: info@bs-shichifukujin.com

ブライダルサロン七福人 ☎0120-188-500